

事業番号	04 07 01	事業改善シート (30年度実施事業分)	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	子どもの貧困の連鎖を断ち切るための対策事業	部局	県民文化部
		課・室	こども・家庭課
		実施期間	～
		E-mail	<a href="mailto:kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp">kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp</a>
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり		

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	子どもの貧困における主な課題として、「家庭の養育環境が十分でない」「多様な教育資源が選択できない」「要支援家庭の孤立」が挙げられる。そのため、家計と子育てを一人で担うひとり親家庭等への家庭機能を補完するための子どもの居場所づくりの推進や教育費負担の軽減等の対策が必要である。	30年度予算額	171,301 千円
		職員数	6.50 人
目指す姿	子どもの居場所づくりの更なる推進により、子どもや家庭が困難に直面したとき、孤立することなく早期に包括的な相談・支援が受けられる体制づくりを進めるとともに、教育費負担を軽減することにより、子ども・若者がその家庭環境にかかわらず、自らの未来を切り拓ける長野県を目指す。 (主な実施内容:官民協働の子どもの居場所づくり推進事業、こどもの未来支援事業、ひとり親家庭就業・自立支援事業など)		

事業	区分(単位:千円)	28年度	29年度	30要求	30予算案	指標及びその達成状況							
						No	成果指標	28年度末	29年度末(見込)	30年度			
予算額	前年度繰越	10,177											
	当初予算	179,043	127,032	194,792	171,301								
Aの財源	補正予算	7,521											
	合計(A)	196,741	127,032	194,792	171,301	①	地域プラットフォーム構築数	-	10箇所	-			
ト	一般財源	31,123	27,843	35,551	33,711	②	コーディネーター等人材育成研修会参加者数	-	-	延べ500人			
	県債					③	就業・自立センター登録者就業率	81.5%	80.0%	80.0%			
	国庫支出金	101,055	29,184	37,384	36,084	④	奨学金給付 新規決定者数	34人	32人	40人			
	その他	64,563	70,005	121,857	101,506	⑤	児童養護施設入所児童等の大学等進学率	22.7%	23.3%	26.7%			
決算額(B)	182,299												
概算人件費	職員数(人)	1.70	6.60	6.50	6.50								
	概算人件費(C)	13,454	52,232	51,441	51,441								
概算事業費(B(A)+C)	195,753	127,032	246,233	222,742									

成果指標設定理由	①② 子どもの居場所づくり推進の状況を評価する指標として適しているため ③ ひとり親家庭への就労支援の状況を評価する指標として適しているため ④⑤ 奨学金給付による実績・効果を評価する指標として適しているため
----------	--

指摘事項等への対応	指摘事項	対応						
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 県民協働による事業改善	<b>点検結果</b> <table border="1"> <tr> <td>①改善の必要あり</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>②現行どおり</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>③移管・廃止</td> <td>0人</td> </tr> </table> <b>主な意見</b> ・他の関連事業と重複する部分の見直しが必要。信州こどもカフェとしてのあり方をもう一度設計しなおした方がよい。	①改善の必要あり	10人	②現行どおり	1人	③移管・廃止	0人	・信州こどもカフェの普及拡大を図るには担い手となる人材の育成が必要。 ・平成29年度に構築する地域プラットフォームをベースに、こどもカフェ運営の担い手となる人材の発掘・育成のための研修事業費を計上。
①改善の必要あり	10人							
②現行どおり	1人							
③移管・廃止	0人							

予算要求からの主な変更点	事業内容を見直すとともに、国の単価変更等により経費を調整
--------------	------------------------------

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	30年度 実施内容	職員数(人)	29年度(当初)	30年度	
					(要求)	(予算案)
1	官民協働の子どもの居場所づくり推進事業	・一場所多役の子どもの居場所「信州こどもカフェ」の普及拡大を図るため、その核となる地域プラットフォームのコーディネーター及びこどもカフェ運営にの中心となる人材の発掘・育成を支援 ・市町村の実施する子どもの居場所づくりに要する経費の一部を補助	5.00	8,677	10,710	9,910
2	こどもの未来支援事業 ※こどもの未来支援基金事業(H29)から改称	家庭環境に左右されず、全ての子どもに学びの機会が保障されるよう、次の事業を実施 ・経済的な困難を抱えながら県内大学等へ進学する児童、児童養護施設入所児童等に対し奨学金を給付 ・児童養護施設が実施する入所児童の科学体験等に対する費用の助成 ・各事業の財源となる「こどもの未来支援基金」「ルートイングループ・永山勝利」大学修学等支援基金への積立	1.00	69,913	129,415	108,215
3	ひとり親家庭福祉推進事業	ひとり親家庭の福祉増進のため、ひとり親家庭への日常生活支援や養育費相談等を実施	0.30	8,044	7,302	7,011
4	ひとり親家庭就業・自立支援事業	ひとり親家庭の自立促進のため、資格取得や就学相談等の支援を実施	0.20	40,059	47,365	46,165
5	ひとり親家庭移住・定住支援事業	-	-	339	-	-
		合計	6.50	127,032	194,792	171,301